

《担当者名》 山田 律子 rich@hoku-iryo-u.ac.jp 内ヶ島 伸也 若濱 奈々子 船橋 久美子 鈴木 英樹(リハ)

【概要】

老年期を生きることの意味と価値について考えると共に、加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴をふまえた看護やエンドオブライフ・ケアについて理解を深め、高齢者と家族に対して多職種と協働しながら看護活動を展開・創発するために必要な知識とケアの視点を学ぶ。

【学修目標】

1. 老いの意味と価値を理解し、心身機能の加齢変化をふまえた健康アセスメント、エンドオブライフ・ケアの視点を説明できる。
2. 高齢者の生活機能に関するアセスメントとケアの視点について説明できる。
3. 地域で暮らす高齢者と家族を支える保健医療福祉制度および多職種協働による地域包括ケアの重要性について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	老いを生きるとは	老いの意味と価値、加齢変化、老年看護学の原則・理論、高齢者を支える地域包括ケアと多職種協働、課題レポート(課題図書)の提示	山田
2	高齢者を取り巻く社会	高齢者の統計学的輪郭と老年看護活動の方向性	山田
3	高齢者の健康アセスメント	老年看護過程、高齢者の認知機能のアセスメント	山田
4	高齢者の健康アセスメント	高齢者の運動機能のアセスメント(サルコペニア・フレイル・ロコモティブシンドロームを含む)	鈴木
5	高齢者の健康アセスメント	高齢者の外皮・感覚、内分泌のアセスメント	若濱
6	高齢者の健康アセスメント	高齢者の循環・呼吸・消化・泌尿器のアセスメント	若濱
7	老年看護の展開	高齢者の生活機能、身じたく・清潔のアセスメントとケア	内ヶ島
8	老年看護の展開	高齢者の睡眠・休息、覚醒・活動のアセスメントとケア	船橋
9	老年看護の展開	高齢者の食事のアセスメントとケア	山田
10	老年看護の展開	高齢者の排泄のアセスメントとケア	内ヶ島
11	老年看護の展開	高齢者のコミュニケーションのアセスメントとケア	船橋
12	エンドオブライフ・ケア	高齢者が最期まで自分らしく生きることを支える多職種協働によるエンドオブライフ・ケア	三浦直子(特別講師)、山田
13	高齢者への地域包括ケア	高齢者に対する災害看護と地域づくり	内ヶ島
14	高齢者保健医療福祉制度	高齢者保健医療福祉制度 高齢者の権利擁護と地域づくり、多職種との連携	山田
15	介護家族と支援体制	介護家族の生活と健康、介護状況、地域支援体制	内ヶ島

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験80%、課題レポート10%、事前課題10%

【教科書】

- 1) 北川公子他「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」第9版 医学書院, 2018. (医学書院 eテキスト) デジタル教科書
- 2) 山田律子・内ヶ島伸也(編)「生活機能からみた老年看護過程」第4版 医学書院, 2020.
- 3) 厚生統計協会(編)「国民衛生の動向・厚生指標2022/2023」厚生労働統計協会, 2022.

【備考】

- 1) 教科書「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」はデジタル教科書とするため、毎回、パソコンを必携とする。
- 2) 課題レポートの提出は、Google Classroomを使用する。

3)授業の出席確認やフィードバックシート(質疑・意見等)は、Google Formsを活用する。

【学修の準備】

1)予習は、事前課題(評価対象)を指定の記述までに実施すること。また教科書の授業テーマに関する部分をあらかじめ読んでおくこと(60分)。

2)配付資料はファイルにまとめ、いつでも活用できるように授業に携帯すること。

3)復習は、教科書、プリントなどを活用し、学修を深めること(30分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2、1、4

【実務経験】

山田律子(看護師、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士)、内ヶ島伸也(看護師)、船橋久美子(老人看護専門看護師)、若濱奈々子(看護師)、鈴木英樹(理学療法士)、中川真奈美(老人看護専門看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

老年看護の実務経験に基づき、老いの意味と価値、加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化をふまえた生活機能のアセスメントとケアの視点を教育する。特に高齢者の運動機能のアセスメントでは理学療法士が、高齢者のエンドオブライフ・ケアでは多職種協働による質の高いケアを老人看護専門看護師が、実践的に教育する。